

新春 おめでとうございます

新春2023を迎え、卓球愛好家のみなさんとともにアスリートの限らない魅力を共に分かち合いたいと願います。

『スポーツが夢を語らないでどうする!』

新しい風を吹き込み続けている夢追うアスリートたちが、2022もすばらしいメッセージを届けてくれました。

「ひたすら強くなりたい」という純粋な夢に向かって、記録へのこだわりを持たず己の可能性を信じて道を切り開き、前例や既成概念にとらわれず力まず自然体で世界と戦える世代。

価値観が多様化する現代において、「ひたすら強くなりたい」という全能に挑むアスリートの姿は、身震いするほどの感動とともに確かな明日を予感させてくれます。

「投げて打って走る」という本源的な野球の価値観を創造しメジャーの歴史そのものを変えた大谷翔平。

師から「人生は追い込まれたときに始まる」と教えられ、一步踏み出すことを恐れず未踏のオールラウンドに挑戦する高木美帆。

「将棋は本当に奥が深い。どこが頂上か全く見えない」と、どこまでも完成はない(無極)と「新時代の一手」、「常識外れの一手」を打つ藤井聡太。

自分の日々不断の行い、努力で、人との比較・記録ではなく限界を越えた目標を追う楽しさを味わっている彼らに共通しているのは、『謙虚さ』に裏打ちされた己の可能性を信じる姿でしょうか。

卓球アスリートも、限界を越えて目標を追う楽しさを味わい続けて欲しいと願います。

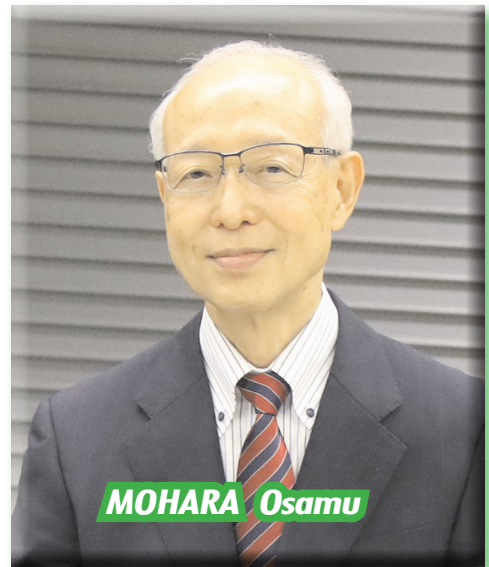
過去の栄光にとらわれ『謙虚さ』を置き去りにし、あまりにも永い永いガラパゴス状況でしたから。

最後に、いよいよ2023年度より「地域移行」が本格化します。

「さまざまな立場の大人たちが積極的に関与し、子どもたちにとって適切な環境づくりを進める」ことが迫られます。

宮崎 泉和歌山県教育長の「指導者の質や信頼感の担保、費用面など多くの課題の解決にあたる」とのメッセージ。

さあ、卓球愛好家のみなさん、前例や既成概念にとらわれず、力まず自然体で世界と戦える世代の姿に魅了されながら、人としてアスリートとして子どもたちの範として、『謙虚さ』をベースに『科学的側面』を駆使して『自分らしさ』に磨きをかけ、『多様性』で互いにたたえ合い、『レジリエンス』で限界を越え、「地域移行」の一役を担っていきましょう!



一般社団法人 和歌山県卓球協会
会長 茂原 治